

岡山城主要部跡地 ワークショップだより

vol.4

※ワークショップ開催結果のお知らせです。

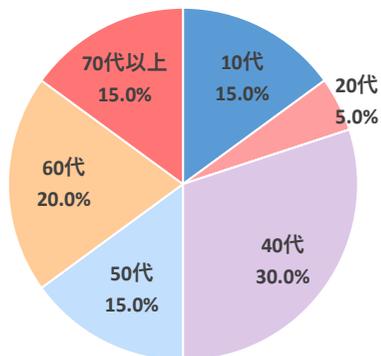
第4回 ワークショップを 開催しました

令和4年9月11日（日）、岡山県立図書館（多目的ホール）にて第4回ワークショップを行いました。当日は公募により20名の方に参加していただきました。若者から高齢の方まで幅広い年齢層の方から意見をいただきました。

当日のプログラム

1. 開会
2. オリエンテーション
 - ・岡山城主要部跡地整備の方向性について
 - ・ワークショップの進め方
3. ワークショップ
 - ・まちの魅力アップに向けて岡山城主要部跡地の活用方法を考えよう！
4. 全体発表
5. 閉会

第4回目ws参加者 年齢層



岡山城主要部跡地 ワークショップとは



岡山城主要部跡地（旧内山下小学校跡地、岡山市市民会館、旧NHK岡山放送会館跡地）は岡山城の城郭があった場所で、南北軸と東西軸のクロスポイントに位置しており、都心全体の回遊性を向上させる大きなポテンシャルを有しています。

そこで、様々な人と、まちの魅力アップに向けて、岡山城主要部跡地の活用方法を共に考え、整備の検討に活かすことを目的として、ワークショップを開催しています。

■ワークショップの開催スケジュール

	開催日	開催場所
済 第1回	令和4年7月9日（土）	岡山県立図書館（多目的ホール）
済 第2回	7月26日（火）	〃
済 第3回	8月17日（水）	〃
済 第4回	9月11日（日）	〃

第4回 ワークショップの 様子

ワークでは、『まちの魅力アップに向けて岡山城主要部跡地の活用方法を考えよう！』をテーマに、5班に分かれて意見を出し合いました。積極的に発言し合い、多くの意見やアイデアが出されました。



ワーク



全体発表



ワークでは様々な意見が出され、たいへん盛り上がりました。



問い合わせ先

政策局 政策部 事業政策課

電話：086-803-1042 FAX：086-803-1846 〒700-8544岡山市北区大供一丁目1番1号

みんなの声

ワークショップでは、岡山城主要部跡地を対象に、「どんな人」が対象地を訪れるのか、そこで「どんなこと」をするのか、そのために「必要なもの」は何かの3つの視点から活用方法を考えました。主なご意見を紹介します。

どんな人（利用する人、利用して欲しい人）

市民/県民	・地域/近隣住民 ・岡山市民 ・高齢者 ・ファミリー ・親子連れ ・若者 ・学生 ・大学生 ・高校生 ・子ども など
観光客	・外国人観光客 ・県外からの観光客 ・建築/アートツーリズムで瀬戸内を訪れる観光客 など
その他	・年代問わずすべての人々 ・仕事で来る人 ・余白時間に訪れる人 ・行き来する途中の人 ・文化芸術に親しみたい人、やっている人 ・障害者の方 など

どんなこと（利用する目的、利用する内容）

日常/憩い	・散歩 ・ペットを連れて行ってお茶 ・お茶 ・景観を楽しみながら食事 ・本を読む ・自習する ・ウォーキング/ランニング ・サイクリング ・自然にふれる ・ゆったりした時間を過ごす など
交流/活動	・集う ・音楽を聴く ・国際交流 ・イベント ・働く ・スポーツ ・アート作品の創作、発表、交流 など
観光	・景観を楽しむ ・岡山の歴史を体験/感じる/学ぶ ・途中休憩 ・近代建築を見てまわる ・ワイナリーで醸造 ・城、川を見ながら宿泊 ・夜の時間を楽しむ など

必要なもの（施設、取り組み等）

施設・設備	日常/憩い	・広場 ・遊歩道 ・カフェ ・緑化 ・川沿いのカウンタースペース ・休憩所（ベンチ/陽差しをしのげる場所等） など
	交流/活動	・イベントスペース ・自習スペース ・グランピングができる広場 ・多目的なオープンスペース ・コンテナショップ（チャレンジショップ） ・障害者の為のスポーツ、文化施設/サポート施設 など
	観光	・宿泊施設 ・インフォメーションセンター ・道の駅 ・飲食店 ・岡山のフルーツを使ったスイーツ店 ・ビュースポット ・水族館（旧内山下小学校） ・城下町の町並み再現 ・歴史/文化資料室 ・豊かな樹木（緑）と景観 など
	防災	・防災拠点（避難所/倉庫/雨水タンク/トイレ） など
	その他	・ママステーション(授乳/おむつ交換) ・ベビーカーを押せる歩道、置場 ・クライミングウォール など
取り組み	交流/活動	・イベント（マルシェ/プロジェクションマッピング/パフォーマンス） ・グッズのレンタル ・キッチンカー など
	観光	・ライトアップ ・川を活かした営み（カヌー/サップ） ・ももちゃりの簡便化 ・路面電車の魅力化 など
	その他	・市民会館壁面（八角形/スタンドグラス）を残して野外ステージに ・世界に向けた発信の仕組み ・安全対策 など

各班のキーワード

A班

- ・誰もが自由に様々な活動ができる場所
- ・まちに足りないものを補える場所
- ・災害から人命を守る場所
- ・川を活かし楽しむ場所
- ・既存施設は災害に備えて除却 など

B班

- ・周辺の観光施設を訪れた観光客が立ち寄れる場所
- ・若い人が集まる場所
- ・市民が交流できる場所
- ・障害者が日常的に集まる場所
- ・岡山の名産品を購入できる場所 など

C班

- ・未来の子供たちのためになる場所
- ・地元の人憩いの場所
- ・観光客が楽しめる場所
- ・何か始める人を育てる場所
- ・文化観光拠点 など

D班

- ・既存施設を活用（水族館/防災拠点/野外音楽堂）
- ・新規住民と既存住民が交流できる場所
- ・固い地盤で安全な場所
- ・景観デザイン
- ・アートを学ぶ場所 など

E班

- ・既存施設を活用（無形文化財の発信の場）
- ・世界に向けて発信
- ・高齢者の憩いの場
- ・学童保育の場
- ・多目的なオープンスペース など